

根域空気供給機の効果確認試験

JAピンネ

荒山 直人



慣行区



試験区①



試験区②



設置画像

試験目的

シャトル用ロッキイの効果確認

試験作物
及び品種

水稻(育苗)

試験資材
及び数量(規格)

ロッキイA24

慣行資材

特になし

栽培方法

定植日

慣行区:4月

試験区:4月

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

シャトルにつける作業だが、カップリングを使用すれば全く問題なく設置できる。5分もあれば問題なし。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

育苗時にシャトルを使用しているが、根の張りが良くなった。根を見てみると半信半疑であったが違いが明確になり、試験品の効果が証明された。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: シャトルを使用している生産者は気軽に導入できる。

【問題点】: 水量を確保するため、水圧を上げる必要がある。農家によって様々であるので、様子を見ながら調整する必要がある。

モニター感想

シャトルにつけるだけの簡単作業で根張りが良くなった。

根張りをよくするための肥料や活力剤のようなものがあるが、これは一度つけるとそのような資材を使用することなく、しかも資材が壊れない限り使用できるので、ランニングコストが圧倒的に高いと思われる。

周辺の農家はシャトルで灌水し、水稻育苗をしているところがほとんどであるが故、非常に有用な資材を感じた。

後はコスト面でももう少し下げたければ爆発的に「流行る」資材になると考えられた。

JA担当者の感想(新十津川資材店 石亀担当)

素人目でもわかるくらいの試験結果に驚いた。シャトル用のロッキイはA-24でマニュアルができたと思う。しかし、組合員の中には頭上灌水等の設備で灌水をする方もいるため、シャトルだけではなく、その他のマニュアルも増やしてくれれば組合員に推進しやすくなると思った。

今後は水稻育苗だけではなく、畑作物にでも使用できるロッキイを探して推進していきたい。

今後の使用について

継続して使用したい。